

—「英語検定」「漢字検定」「数学・算数検定」で学力を飛躍的に向上しよう—

開倫塾
塾長 林 明夫

A：(林明夫：以下省略)

- (1) 大学入試センター試験・私立高校入試まであとわずかとなりました。1分1秒も無駄にせず全力を尽くして、眠る時間以外は受験勉強に励んでください。
- (2) 中学3年生の皆様は、これまでよく英語検定・漢字検定と検定試験を受験、学力を身に付けてきました。立派です。高く評価します。
- (3) 12月6日(土)の「数学検定」には、開倫塾の中学3年生全員が一人残らず受験手続きを済ませました。数学検定に合格するための学習は高校入試に直結します。学校の定期試験や模擬試験にも直結し、役に立ちます。全力を傾け、ひたすら数学を学習し「数学検定」合格を目指してください。12月6日の「数学検定」で数学の学力を飛躍的に向上させましょう。
- (4) 2学期終了までに「英語検定」「漢字検定」「数学検定」の各検定で中学校修了程度といわれる「3級」を取得しなかった中学3年生は、3学期に行われる各検定を必ず受験。3級取得を果たしてから高校に進学してください。3学期の各検定3級の受験は、高校入試に役立つばかりでなく、高校1年生の学習にも役に立ちます。すべての高校では、各検定3級合格者は歓迎されます。多くの高校では、3級未取得者は高校入学後に、取得するよう奨励(しょうらい)されます。
- (5) 開倫塾の塾生は全員、3大検定の3級を必ず受験し、合格を果たし、高校に進学してください。
- (6) 同様に、高校3年生は2級に合格してから大学に進学してくださいね。

A：はい、その通りです。

- (1) 開倫塾では、個別指導を含め塾生全員の学力を飛躍的に向上させるには「英語検定」「漢字検定」「数学・算数検定」に1年に1回以上全塾生が受験し、全塾生が合格することが最も効果的と考えます。
- (2) そこで、1学年の締めくくりの学年末試験のある3学期には全塾生が3大検定を受験し、合格を果たし、学年末試験でよい点数を取り、次の学年に進学を果たしたく考えます。
- (3) 来年4月に始まる新学年でよい成績を取るには、それまでの学年の内容を完全に身に付けておくことが大切です。3大検定の受験、合格のための学習を通して、3学期の学年末試験でよい点数を取得すると同時に、4月からの新学年でもよい成績を取ることができます。

- (4)各検定の受験と合格のための学習は大学入試、高校入試、中学校入試などすべての入学試験にも直結します。合格結果は調査書に記入してもらえ、合否の参考にされる学校が多いようです。
- (5)就職試験にも有利で、履歴書にも書けます。合格を果たすと自分の自信にもなります。
- (6)例えば、私は中学3年生の2学期に英語検定3級に合格し、朝礼で校長先生から合格証を渡して頂き、ほめて頂いたことがそれからの勉強の励みになりました。また、英語を学ぶことが好きになり、自信にも繋がりました。

A : (1)各検定には受検のめやす(目安)として「学年相応の級」が示されています。
開倫塾の先生と十分相談の上、できれば学年相応の級を受験してください。

(2)中学3年生は、3学期には3級を受験し、合格を果たして高校に進学してくださいね。

(3)ただし、実力がそこまでに至らないと思われる方は開倫塾の先生と十分相談の上無理をせず、受験日までに頑張れば合格する級を受験してください。その場合は、開倫塾の先生と十分相談の上、今の学年相応の級は2015年の1学期か2学期に取得するよう心掛けてくださいね。

(4)既に、学年相応の級を取得している場合には、是非、次の級に挑戦、チャレンジして合格を果たしてください。勉強に遠慮は一切不要です。得意な科目はどんどん先へ先へ自分の力で進んでくださいね。

A : (1)開倫塾の先生方の指示通り、自分で計画を立て、コツコツと学習してください。

(2)一度学習した内容を「すべて」繰り返して何回も何回も「学習し直す」ことが合格の秘訣です。

(3)「間違えた問題」は、ていねいに学習し直し、二度と間違えないようにすることも大切です。

(4)ただし、大切なのは、一度学習した内容の「すべて」を繰り返して何回も「学習し直す」ことです。

A : (1)「音読練習」「書き取り練習」「計算・問題練習」はとりわけ「3大検定」には絶大の効果を発揮します。

(2)「練習は不可能を可能にする」。「定着のための3大練習は、3大検定合格を可能にする」。「
」です。
がんばってくださいね。

— 2014年11月18日 —
(宇都宮大学大学院工学研究科 客員教授)